



岡本 幸子



浅枝 祐加



宮本 直



ふるさとへ

34

三輪 義人さん

(愛知県三好町在住)



金沢 兼六公園にて

自慢できる故郷

広報「へき」を送って頂く様になつて、三年になります。これ迄も黄波戸に帰るといつも母から見せてもらつていました。今回、ふれあい広場の投稿依頼が届きびつくりしています。

黄波戸を出てから三十五年がたちました。大阪に始まり、東京、広島、福岡と転勤し、今は名古屋で妻と二人で暮しております。転勤の度に妻が同行してくれて、これ迄単身赴任をしなくて済んで助かっています。

神田小学校、五・六年担任の池永先生、日置中一年の片山先生(いづれも故人)、三年の藤津先生には本当にお世話になりました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。ま

た、藤津先生には、来年夏の同窓会にはどうか御出席賜り、我々に元氣な姿をお見せ頂きたいと願っています。幹事の皆様よろしくお願い致します。埋立地になる前の公民館下の砂浜でのめんこし、恵比須さんへの渡し船、青年団宿前での映画会、今は亡き父と行ったばてこ釣り等、なつかしく思い出されます。きれいな海、新鮮な魚貝、公害のない町、温泉までが出てきた町等々、皆んなに自慢出来る故郷がある事を誇りに思っています。

今は、母が一人新屋敷で元氣に暮していますが、常日頃皆様のお世話になつている事に感謝しております。私もリタイアしたら妻と黄波戸に帰

日置俳壇

〈兼題 春雨〉

- 春雨や山のひだ通う出湯の煙 吉村一泉女
- 春雨や浮き棧橋の群れかもめ 西村亥子代
- 孫の声受話器にやさし春雨の雨 秋枝タキ子
- 春雨に留守居の一日長きこと 国司ハル子
- ふる里の山家はさびし春雨の雨 古谷 桃月
- 春霖のあがり天地に生氣満つ 白石 敏江
- 春雨や人を恋せしときもあり 木村 一路
- 春雨に無頓着なる下校の児 松岡ヨシ子

〈雑詠〉

- 鉄振れば生命溢る、春の土 松岡ヨシ子
- 花の名のそれと判りし物芽かな 白石 敏江
- チラホラと季節忘れず梅の花 塩瀬 米江
- 春雨や雑談はずむ理髪店 高尾 凡果
- 嫁す孫へ数珠を手渡し日もうらら 吉村一泉女
- 枝打に幾度も通う春の山 木村 一路
- 老の愚痴聞くも友情春炬燵 秋枝タキ子
- 春めきてへき楽園の喜々の声 尾方ヒサ子

筆者紹介

昭和18年生まれ。黄波戸出身。現在NRI情報システム名古屋営業所長として活躍中。

り母と一緒に老後を過ごしたいと思つています。その節はどうぞよろしくお願い致します。

日置町の益々の御繁栄をお祈り申し上げます。

イラストコーナー



さやかさん